

見過ごさないで

逆流性食道炎

胃酸が逆流して食道に炎症を起こす「逆流性食道炎」。胸焼けやげっぷなどの症状があるため、胃の不調だと見過ごされることが多い病気だ。食生活の欧米化で患者は増加傾向にあるが、他の生活習慣病などに比べて、県民の認知度は低い。逆流性食道炎に詳しい徳島大学病院消化器内科の高山哲治教授に、病気の原因や治療法について聞いた。



食道と胃との境界には、下部食道括約部という、つなぎ目があり、通常は閉じていて、健康なら胃の中のものが逆流することは無い。しかし、その機能が悪くなると、胃酸やいったん胃に入った食べ物が食道へ逆流して、びらんや潰瘍をつくる。

「太った中高年男性や、高齢によって腰が曲がった女性らがハイリスク層。肥満により腹圧が上がったり、前かがみの姿勢で胃を圧迫したりすると、下部食道括約部が閉じていられなくなり、逆流を起こす」と高山さん。

高タンパク・高脂肪の食

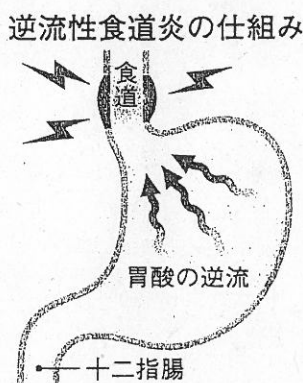
徳島大学病院消化器内科 高山哲治教授に聞く

事や香辛料を多用した料理 半分にも満たない低さだった。食生活の欧米化も大きく影響している。過食や飽食により胃酸の分泌量が過剰になると、逆流する胃まで上がってくる▽げっぷ酸も多くなり、食道炎を起こすリスクが高まる。従来は欧米人に多かった病気だが、最近は国内でも患者が増え、約16%の人が罹患しているといわれる。

ただ、病気に関する認知度は極めて低いという。昨年6月、東京の民間調査会社が実施したインターネット調査の結果では、徳島県内で逆流性食道炎を知っている人の割合は、わずか32・4%。胃炎、糖尿病、うつ病、高血圧、骨粗鬆症、肝炎などの認知率と比べ、

悪化させないためには、

逆流性食道炎の仕組み



薬による治療でQOL改善

逆流性食道炎 自己チェックシート	ない	まれに	時々	しばしば	いつも
胸焼けがする	0	1	2	3	4
おなかが張る	0	1	2	3	4
食後に胃がもたれる	0	1	2	3	4
胸をこすってしまう	0	1	2	3	4
食後、気分が悪い	0	1	2	3	4
食後に胸焼けが起こる	0	1	2	3	4
のどに違和感がある	0	1	2	3	4
食事の途中で満腹になる	0	1	2	3	4
飲み込むとき、つかえる	0	1	2	3	4
胃酸が上がってくる	0	1	2	3	4
げっぷがよく出る	0	1	2	3	4
前かがみをする	0	1	2	3	4

合計点数が8点以上で疑いあり

【出典】草野元康 臨床と研究 82巻2号

早期治療が欠かせない。診断は、内視鏡（胃カメラ）やバリウムなどの検査で簡単にできる。もしも不安があれば、内科や胃腸科、総合病院などで、すみやかに検査することが重要だ。

治療は飲み薬が主流だ。「胃酸の分泌を抑えるプロトンポンプ阻害剤（PPI）」は、とてもよく効き、不快感を取り除いてくれる。治療で症状を緩和させると、QOL（生活の質）を向上させることもできる」と、高山さんは薬物治

肥満や加齢が原因

も薬にできるので、自覚症状があれば、必ず医療機関を受診してほしい」と呼び掛けている。